



1-6 LAC 特別講座 Subtitle Translation Workshop

～ショートフィルムの字幕をつくろう♪～

生徒感想（抜粋、原文そのまま）

・完成した8つの動画を見て、それぞれ表現の仕方が違って、見るのがとても楽しかったです。翻訳の仕方もうごく学びになりました。これから映画やドラマを見るときに字幕も意識してみたいと思います。

・とても楽しくいろいろなことを学べた講座でした。私たちが楽しんだり悲しんだり、時には海外ドラマを見て涙を流したりするのは、その字幕につけるワードセンスがいいからなんだなと思いました。

・この講義で一番感じたことは、日本語を工夫しなければならないという点です。これからの英語の勉強でも、この講座で学んだこともいかしてがんばりたいと思いました。

・授業を受けたあと、字幕の仕事に興味を持てるようになりました。とても楽しかったです。

・今回の講義を受けて、字幕をつける大変さを学ぶことができました。（略）班によってタイトルや訳し方など、それぞれの個性が出ていてとてもおもしろかったです。普段からしっかりと単語の意味を身につけ、前後の文から内容を理解する必要があるなと思いました。

・字幕をつける作業をして、私の日本語の表現力のなさを目の当たりにしました。英文を訳し、その意味を根源的に掴み、簡潔に日本語で表さなければなりません。しかし私の場合は直訳をどう短くまとめるかにこだわり、本来の意味を日本語にすることを忘れていました。そのことから、英語を訳すときは、英文法にのっただけではなく、自分自身が感じた気持ちを大切にしたいと思いました。

・初めて字幕をつけるということを体験しました。ただ訳すだけだと勝手に思っていたのですが、全然ちがいました。誰にでもわかりやすく、短く要約したものであるということを知りました。それは、その文の意味をよく理解したうえでわかりやすく要約するので、すごく難しかったです。

・普段映画を鑑賞する際は、なぜ翻訳の文章がすんなりと頭に入ってくるのか、なぜ元はわからない言語が使われた作品なのにも関わらず違和感なく鑑賞することができるのか、考えたことすらなかったので、様々な工夫がされていることを知り、さらに作品へのリスペクトを高めることができました。